



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第60回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥ことお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第60回全国研究発表大会が2018年5月26日(土)、27日(日)に横浜商科大学つるみキャンパス(神奈川県横浜市)にて開催されます。つるみキャンパスは、横浜市鶴見区にあり、最寄りの鉄道駅は、京浜急行の生麦駅、またはJR横浜線の大口駅です。多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

### 記

開催日：2018年5月26日(土)～27日(日)

開催場所：横浜商科大学つるみキャンパス

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

交通アクセス <http://www.shodai.ac.jp/access/>

連絡先：実行委員長 柳田 義継(横浜商科大学)

E-Mail : [jams60@yanagida-lab.com](mailto:jams60@yanagida-lab.com)

主催：日本経営システム学会

統一論題：「クラウドによる連携と経営システム」

基調講演：「Cloud, Mobile, API および IoT と経営システム」

株式会社テクニカル・ユニオン 社長 戸倉 正貴 氏

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円、(当日支払は各 1,000 円高)

懇親会費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員 5,000 円、非会員 6,000 円(当日支払各 1,000 円高)

昼食：大学内の食堂・コンビニは 26 日、27 日共に閉店です。生麦駅から大学までの徒歩(約 15 分)途上にコンビニエンスストアがあります。

宿泊：横浜駅(電車 15 分)周辺にホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。

参加申込：本 JAMS NEWS に同封の振込用紙、または HP の振込み方法を参考にして 5 月 18 日(金)までに上記金額をお振込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

### ■会場設備について

全ての発表会場に PC(Windows, MS-Office)とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用下さい。データは USB メモリーに入れてお持ち下さい。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になり準備に時間がかかりますので、ご注意ください。

### ■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「学会発表に関する原則」(学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>) に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

## ■大会会場へのアクセス

- ・京浜急行線「生麦駅」下車、徒歩 15 分
- ・JR 横浜線「大口駅」下車、徒歩 20 分
- ・JR 線、東急東横線、京浜急行線、横浜市営地下鉄線「横浜駅」下車、横浜駅東口バスターミナル 15 番より、川崎駅西口行バス（市営 7 系統）、鶴見駅行バス（市営 29 系統）で岸谷バス停下車、徒歩 5 分
- ・JR 横浜線、東急東横線「菊名駅」下車、鶴見駅西口行バス（市営 41 系統）で飯山バス停下車、徒歩 5 分
- ・JR 京浜東北線「鶴見駅」下車、西口バスターミナル 3、4 番より、横浜駅西口行バス（市営 38 系統）、新横浜駅行、または川向町行バス（市営 41 系統）で飯山バス停下車、徒歩 5 分

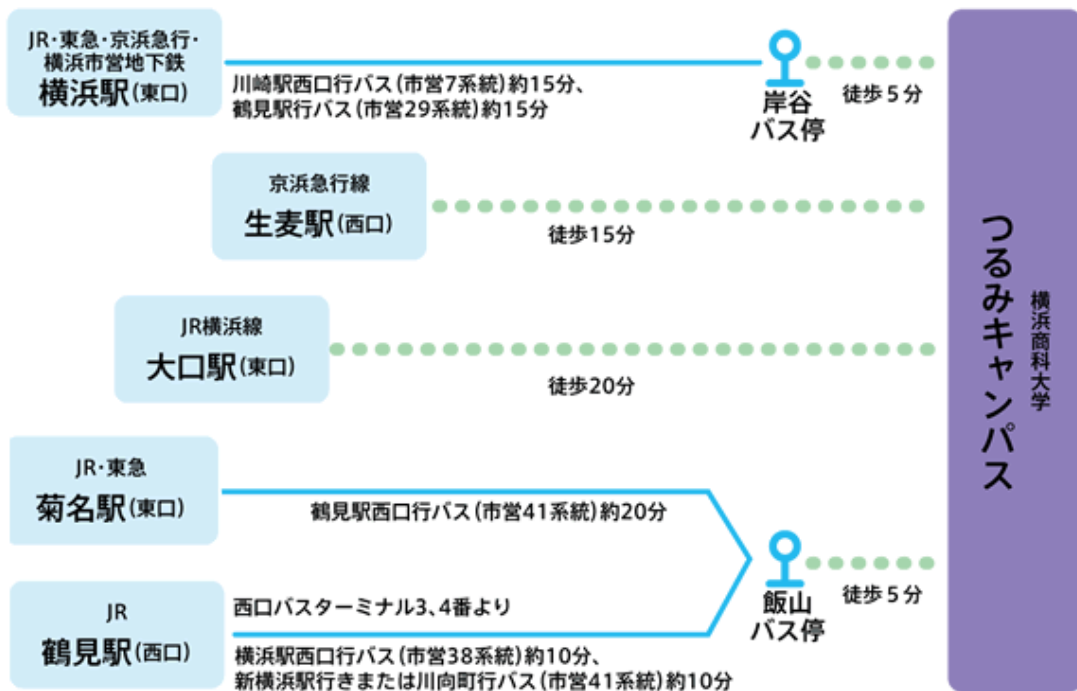
※鶴見駅・菊名駅からバスでお越しの方は、「飯山」バス停の隣の「みやだいばし」バス停からも徒歩 5 分でアクセスできます。一部階段がありますが比較的緩やかな坂で、バス停のすぐ近くにセブンイレブンもあります。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

※その他の交通アクセスの詳細は、下記ページをご覧ください。

交通アクセス <http://www.shodai.ac.jp/access/>

※自動車利用：学外の方にご提供できるスペースがございませんので、ご遠慮下さい。

## つるみキャンパス ルート案内



## ■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい（もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい）。

- ・学生セッションの発表は、正会員（一般的には指導教員）との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とします。

**第60回 日本経営システム学会 全国研究発表大会 プログラム**  
 (開催日:平成30年5月26日(土)、27日(日)) 会場:横浜商科大学つるみかキャンパス  
 統一議題:「クラウドによる連携と経営システム」

10:30~11:00	受付開始 2/4教室	休 息
11:00~11:10	開会式	
11:10~12:10	理事会	
12:10~12:40	各研究委員会(各担当教室)	
12:50~12:55	1日総会 1/2教室	休 息
12:55~13:50	経営学部長挨拶 朝田 敬雄 会長挨拶 神戸学院大学 堀出 省吾 副会長挨拶 神戸学院大学 堀出 省吾	
13:50~14:00	総会	
14:00~14:05	表彰式	
14:05~15:05	基調講演:「Cloud, Mobile, APIとIoT」と経営システム」 株式会社アピカニカル・ユニオン 代表取締役社長 戸倉 正貴氏	休 息
15:05~15:20	A会場 (一般・3号館2階 321教室)	
15:20~15:50	B会場 (一般・3号館2階 322教室)	
15:50~16:20	C会場 (一般・3号館2階 323教室)	

時 間	A会場 (一般・3号館2階 321教室)	B会場 (一般・3号館2階 322教室)	C会場 (一般・3号館2階 323教室)	D会場 (一般・3号館2階 324教室)	E会場 (一般・3号館2階 326教室)	F会場 (学生・3号館1階 311教室)	G会場 (学生・3号館1階 312教室)
15:20~15:50	統一議題:東通市における公共インフラのユニバーサル・デザイン度合い * 東京学院大学 浅井 運雄 * 中央学院大学 佐川 大志 * 東京大学 福島 慎 * 東京大学 田中 謙司	電気自動車の走行データに基づいたVehicle-to-gridの有効性に関する研究 * 東京大学 佐川 大志 * 東京大学 福島 慎 * 東京大学 田中 謙司	電気自動車の走行データに基づいたVehicle-to-gridの有効性に関する研究 * 東京大学 佐川 大志 * 東京大学 福島 慎 * 東京大学 田中 謙司	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明
15:50~16:20	統一議題:日立製作所 近藤 伸和 * 日立製作所 近藤 伸和 * 日立製作所 近藤 伸和	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明
16:20~16:35	サピス、ロボット研究と経営活動への活用 * 千葉工業大学 三原 康司	宅配事業における配送モードの選択と最適化に向けた試案 * 東京大学 田中 謙司 * 東京大学 福島 慎 * 東京大学 佐川 大志	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明
16:35~17:05	技術革新のバターストーンに基づくITビジネス戦略手法の研究 * 日本文理大学 泉 西亮	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明
17:05~17:35	技術革新のバターストーンに基づくITビジネス戦略手法の研究 * 日本文理大学 泉 西亮	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明
17:35~17:50	サピス、ロボット研究と経営活動への活用 * 千葉工業大学 三原 康司	宅配事業における配送モードの選択と最適化に向けた試案 * 東京大学 田中 謙司 * 東京大学 福島 慎 * 東京大学 佐川 大志	クラウドチャーム技術の適用による地方創生に向けた試案 * クレスコ 山内 真弘	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明	経営学博士課程 東原 剛 川中 孝章 山下 洋史 * 気象予報士 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史 * 日本大学 小田部 明 * 明治大学 小田部 明
17:50~19:30	閉会式	閉会式	閉会式	閉会式	閉会式	閉会式	閉会式

【5月27日(日) 午前】 昼出講義 9:00~ (講師: 3号館3階 ロビー)

時間	A会場 (一般・3号館2階 321教室)	B会場 (一般・3号館2階 322教室)	C会場 (一般・3号館2階 322教室)	D会場 (一般・3号館2階 324教室)	E会場 (一般・3号館2階 325教室)	時間	F会場 (学生・3号館1階 311教室)	G会場 (学生・3号館1階 312教室)
9:30~10:00	企業運営変遷のための多階層価値連鎖分析の活用 *慶應義塾大学 島 清志 *慶應義塾大学 白坂 成功	スーパーマーケットにおける売場の磁石に注目した売場レイアウト分類に関する考察 *福島大学 太田 雅哉 *福島大学 樋口 良之	ベイリアンネットワークを用いた社員入職意向向上策における差異分析 *近畿大学 片岡 隆之 *近畿大学 高山 修竹 *近畿大学 藤井 誠 *近畿大学 岩瀬 誠	ヒューマン・リソース (HR) 研究部会: 経営研究部会における「新製品開発促進」の総合的報告 *愛知淑徳大学 鄭 年雄 *愛知淑徳大学 小田部 明 *愛知淑徳大学 日本大学 明	宇宙開発ミッションに対応した宇宙食の進化と発展に関する一考察 *立命館大学 吉田 梨花 *立命館大学 栗 直明	9:30~9:50	宇宙開発ミッションに対応した宇宙食の進化と発展に関する一考察 *立命館大学 吉田 梨花 *立命館大学 栗 直明	個別医療医療品開発における戦略的対外取引の比較検討 *立命館大学 牧野 智宏 *立命館大学 児玉 耕太
10:00~10:30	エントランスチャイルドの喜の印象の性質に関する研究 *芝浦工業大学 青山 明哉 *芝浦工業大学 平田 貞代 *芝浦工業大学 吉田 貴洋	テキストマイニングによるアパレルポトムの需要分析に関する一考察 *文化ファッション大学院大学 丸山 宏 *文化ファッション大学院大学 日本大学 真理 鈴木 邦成	計算モデルに基づく大学生に求められる能力の可視化 *神戸学院大学 柴田 淳子 *神戸学院大学 毛利 直太郎 *神戸学院大学 堀出 省吾	ヒューマン・リソース (HR) 研究部会: HR研究部会における「システム温・体温」の総合的報告 *明治大学 橋 善喜 *明治大学 山下 洋史	9:50~10:10	技術革新と分解法の船舶用流体制御装置への応用 *立命館大学 平田 研二 *立命館大学 栗 直明	10:10~10:30	客席の構成要素と客席設備の構造化による客席管理能力の考察 *慶應義塾大学 新居 日南重 *慶應義塾大学 加藤製作所 小林 延至 *慶應義塾大学 白坂 成功
10:30~10:45	生産スケジューリング改善サイクルのための多目的な遺伝アルゴリズム *大阪工業大学 権原 正次	マネジメントハイアウト(CEO)の社重分析: 非公開化型とのれんげ型との比較 *愛知産業大学 丸山 宏	中小企業におけるIT化の進展と社員教育にかかわる課題: IT人材育成を踏まえ上層大教員の役割 *岩手県立大学 齋藤 香織 *岩手県立大学 大花田 憲 *岩手県立大学 野高 茂樹 *岩手県立大学 鎌田 真人	ヒューマン・リソース (HR) 研究部会: HR研究部会における「コミュニケーション・ネットワーク」の総合的報告 *青山学院大学 蔵本 薫 *日本大学 小田部 明 *明治大学 山下 洋史 *早稲田大学 大野 高裕	10:45~11:05	顧客満足度と与える影響要因の同定 *立命館大学 鈴木 真之 *立命館大学 青山 敦 *立命館大学 法政大学 山崎 玄博	地方都市のホテルにおける需要変動と顧客属性を考慮した収益管理問題 *早稲田大学 中田 一樹 *早稲田大学 蓮池 隆	
11:15~11:45	物流産直のトータルビジネスにおける物流ソリューション並列処理手法によるスループット向上の研究 *東京大学 田中 謙司 *東京大学 原田 新希 *東京大学 佐川 大志	理論的側面による経営管理 *LIVIL 藤原 大豊	IT利活用に基づく中小企業の活性化に関する事例研究 *横浜創英大学 三浦 達也	ヒューマン・リソース (HR) 研究部会: HR研究部会における「コミュニケーション・ネットワーク」の総合的報告 *東京大学 川中 孝章 *明治大学 山下 洋史	11:05~11:25	履歴データをを用いたDM戦略への強化 *早稲田大学 宮尾 恭夫 *早稲田大学 蓮池 隆	新製品普及と過程における消費者のタイプを考慮した広告 Base モデル *東洋大学 吉田 美勇士 *東洋大学 田畑 智章	変動要因を考慮した前口原油価格予測モデル *東海大学 木暮 美菜 *法政大学 村上 茂光

時間	A会場 (一般・3号館 2階 321教室)	B会場 (一般・3号館 2階 322教室)	C会場 (一般・3号館 2階 323教室)	D会場 (一般・3号館 2階 324教室)	E会場 (一般・3号館 2階 325教室)	F会場 (学生・3号館 1階 311教室)	G会場 (学生・3号館 1階 312教室)
12:45～13:15	沖繩における国際物流戦略に関する一考察 *国工館大学 税所 哲郎	日中のモノづくり思考の共通性・異質性に関する研究 *早稲田大学 澤口 学	農産物の需要予測方法の研究 *北陸先端科学技術大学院大学 清之 浩之 *秋田市立大学 山本 明 *北陸先端科学技術大学院大学 藤波 勇	ニュー・リソース(HR)研究部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	経営品質科学部会 「小規模沿岸島」における職制別経営マテリアルの事例研究 *鳥取県立大学 村山 健 *明治大学 山下 洋史	中小企業における事業継続の定着化に関する一考察 *愛知工業大学 上甲 高士雄 *愛知工業大学 文彦 文彦 *愛知工業大学 近藤 高司	
13:15～13:45	特定形態網際型に勤務する看護士の雇調業務の検討 *立命館大学 八代 律子 *立命館大学 石田 修一 *法政大学 玄場 公規	日本における製造業の組織風土とR&Dの関係性についての一考察 *立命館大学 岩崎 之勇	情報のフェアトレードの研究 *横浜市立大学 永松 隆明 *東洋工業大学 藤田 祐司 *横浜国立大学 柳田 義徳 *千葉商科大学 仲野 友樹	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	経営品質科学部会 「小規模沿岸島」における職制別経営マテリアルの事例研究 *鳥取県立大学 村山 健 *明治大学 山下 洋史	急成長産業における企業活動の活性化の要因調査—中小企業の事例分析— *岩手大学 土山 真由美 *岩手大学 三好 扶	
13:45～14:00	看護士の属性とリスク感知尺度の関係性 *修文大学 相摸 依布子 *愛知淑徳大学 上原 衛 *明治大学 山下 洋史	プラットフォーム製品における階層間ネットワーク効果の構造的検証の考察 *名古屋商科大学 加藤 和彦 *名古屋商科大学 加藤 和彦	研究開発活動における知識の有効活用 *横浜市立大学 永松 隆明 *横浜市立大学 上野 拓海 *東京工業大学 藤 祐司	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	経営品質科学部会 「小規模沿岸島」における職制別経営マテリアルの事例研究 *鳥取県立大学 村山 健 *明治大学 山下 洋史	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	
14:00～14:30	プラットフォーム製品における階層間ネットワーク効果の構造的検証の考察 *名古屋商科大学 加藤 和彦 *名古屋商科大学 加藤 和彦	研究開発活動における知識の有効活用 *横浜市立大学 永松 隆明 *横浜市立大学 上野 拓海 *東京工業大学 藤 祐司	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	経営品質科学部会 「小規模沿岸島」における職制別経営マテリアルの事例研究 *鳥取県立大学 村山 健 *明治大学 山下 洋史	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	
14:30～15:00	プラットフォーム製品における階層間ネットワーク効果の構造的検証の考察 *名古屋商科大学 加藤 和彦 *名古屋商科大学 加藤 和彦	研究開発活動における知識の有効活用 *横浜市立大学 永松 隆明 *横浜市立大学 上野 拓海 *東京工業大学 藤 祐司	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	経営品質科学部会 「小規模沿岸島」における職制別経営マテリアルの事例研究 *鳥取県立大学 村山 健 *明治大学 山下 洋史	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	経営品質科学部会 「重載ソフトウェア開発におけるソフトウェアエンジニア」の総合的研究 *日本大学 祐治 祐治 *日本大学 小田部 明	

日本経営システム学会会員の皆様、昨年本学会会長職に選任されました神戸学院大学の塩出です。錚々たる歴代会長の後を受けたのですが、私で十分務まるのか不安ながら副会長の椎原正次先生、松岡公二先生をはじめ、理事の先生方の助けによりこの1年を過ごしてきました。昨年秋の大会では、小田哲久前会長のご尽力により、ハワイで開催できなかった国際会議を大会と同時開催で星城大学において実施されました。おかげでIJAMSの投稿数も増え、英文誌の活性化に向けた良い方向に踏み出したかと思えます。

本学会がこれまで歩んできた道中で様々な取り組みがなされ学会も発展してきましたが、さらに将来に向けて考えたときに、学会論文誌のレフェリー確保や会員数の確保などを含め問題点もいくつか見えてきました。現在それらを検討しており、今後のより良い学会運営をめざして進めていかなければなりません。

本学会はカバーする研究領域も広く、文理融合という本学会の特長を生かして研究発表および論文投稿を増やし、研究活動の活性化に伴い学会論文誌の質的向上を目指さなければなりません。私がおの一助にでもなればと思っています。

今後も皆様のご協力をお願いして任期を全うしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

## 2017年度第3回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2017年10月28日（金） 11:00～12:30
- II. 開催場所：星城大学 本館 3階 1301教室
- III. 出席者：塩出、松岡、石田、川中、近藤、今野、東海、永松、成川、西口、西村、水上、浅井、石島、稲永、上原、金子、佐藤、鄭、谷崎、田畑、中井、原田、深澤、水野、毛利、柳田、山下、山田、若尾  
（監事）小田、松丸 （オブザーバー）野村 敬称略
- IV. 審議事項
  1. 2017年度第2回議事録の確認（西口）：2017年度第2回理事会議事録が報告され、承認された。
  2. 会員の入退会について（西口）：入退会の状況について説明がなされた。これにより、2017年10月28日現在、正会員514名、学生会員138名となった。
  3. 第59回全国研究発表大会の準備状況について（野村）：口頭にて準備状況についての説明がなされた。事前申込者が105名、発表件数が74件となった。
  4. ICBI2017の準備状況について（柳田）：準備状況についての説明がなされた。事前申込者が61名、発表件数が44件となった。会員へのオーディエンスとしての参加及びバスツアー参加への要請があった。
  5. 全国研究発表大会準備状況について（永松・柳田・丸山）：第60回（横浜商科大学）・第61回（愛知産業大学）・第62回（新潟国際情報大学予定）・第63回（神戸学院大学予定）の準備状況の説明がなされた。
  6. シニア会員について（小田）：「シニア会員」に対しては、名目上の正会員数を減らさない目的で新しい会員カテゴリを設けることはせず、問題となっている「高齢者の定年後の負担増」のみに対応するため、正会員である高齢者に対する会費減免を会則変更（具体的には第2章第9条に4項として追加する形）によって行うことが提案された。これに対しいくつかの意見が出された。出された意見・議論を踏まえ、組織委員会で継続審議されることが承認された（ただし2018年3月を目途）。
- V. 報告事項
  1. 編集委員会からの報告（水上）：事務局の事情もあり、3件の査読が長期にわたり遅延していることが判明し、その後早急に対応したことが報告された。事務局の現状を考えると今後も同様の事態が起こりうることが考えられるが、とりあえず査読のスピードを上げて対応することが確認された。



## 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 パラードハイム703  
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
E-Mail: keieisys@jams-web.jp